

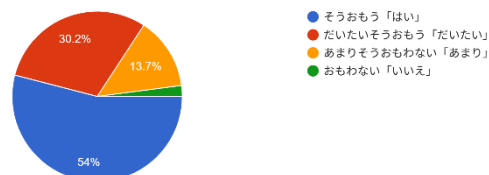
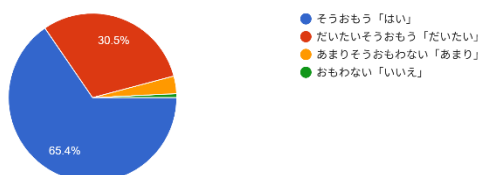
No.1 児童による学校評価・・・「授業や生活についてのアンケート」2～6年生の結果報告

評価項目

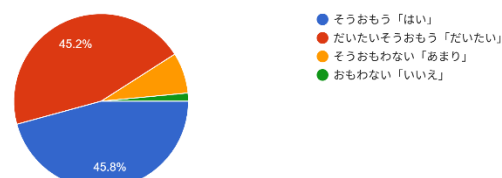
- (1) 学校は楽しく、安心して生活を送ることができる。
- (2) 体育の時間や休み時間に、すすんで体を動かしたり、遊んだりしている。
- (3) 授業はわかりやすく、楽しい。
- (4) 決まった時間に宿題にとりくみ、問題をしっかり解いたり、字を正しくていねいに書いたりしている。
- (5) 声の大きさに注意して発表したり、ともだちの話をしっかり聞いたりできる。
- (6) 授業中、ともだちと相談したり、自分の考えをともだちに伝えたりできる。
- (7) 元気よく、明るいあいさつができる。
- (8) なかよし学級との活動などで他の学年の仲間と楽しく活動ができる。
- (9) だまって、最後まで清掃にとりくんでいる。

2～6年生(全校)の結果

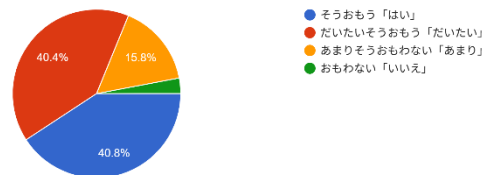
№1 学校（がっこう）は楽しく（たのしく）、安... （せいかつ）を送る（おくる）ことができ... №2 体育（たいいく）の時間（じかん）や休み時...かしたり）、遊んだり（あそんだり）している。
532 件の回答 533 件の回答



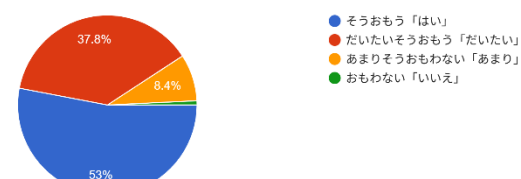
№3 授業（じゅぎょう）はわかりやすく、楽しい（たのしい）。
531 件の回答



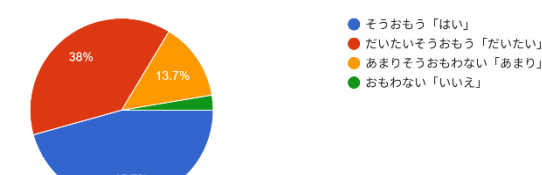
№4 決まった（きまった）時間（じかん）に宿...くて）いねいに書いたり（かいたり）している。
537 件の回答



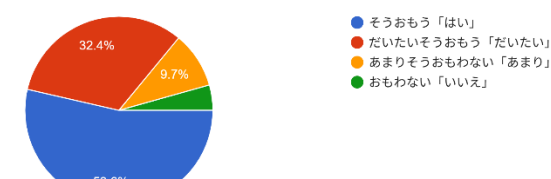
№5 声（こえ）の大きさに注意（ちゅうい）し...なし）をしっかり聞いたり（きいたり）でき...
534 件の回答



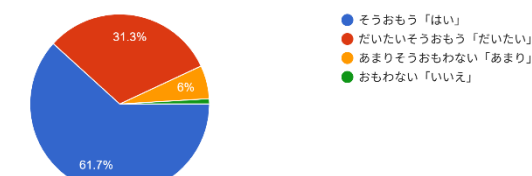
№6 授業中（じゅぎょうちゅう）、ともだちと相...）をともだちに伝えたり（つたえたり）できる。
532 件の回答



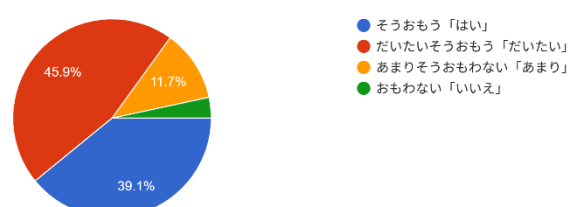
№7 元気（げんき）よく、明るい（あかるい）あいさつができる。
528 件の回答



№8 なかよし学級（がっきゅう）との活動（か...しく（たのしく）活動（かつどう）が...できる。
533 件の回答



№9 だまって、最後（さいご）まで清掃（せいそう）にとりくんでいる。
532 件の回答



No.2 職員による学校自己評価

趣旨（ねらい）

本校は、学校グランドデザインの3つの柱に基づき、教育活動をスタートした。1学期末には、四件法による職員アンケートと児童アンケートを実施し、神科小の子どもたちの強みやよさを教職員間で共有したい。共有した強みをさらに伸ばすために、学年ごとに具体的な方策を立てる。

「子どもも教員も笑顔で育つ学校」を実現することを目指し、今後の取り組みを推進していく。職員一人ひとりが願いや自己課題を率直に出し合い、これをもとに、学校としての重点目標と改善策を明確にする。

評価項目 神科小グランドデザインより 3つの柱

A 他者と関わる力 生活科、総合、特別活動の充実（力を合わせる）

B 学びに向かう力 授業力向上、自ら探究的に学習し発信する取り組み（自分で考える）

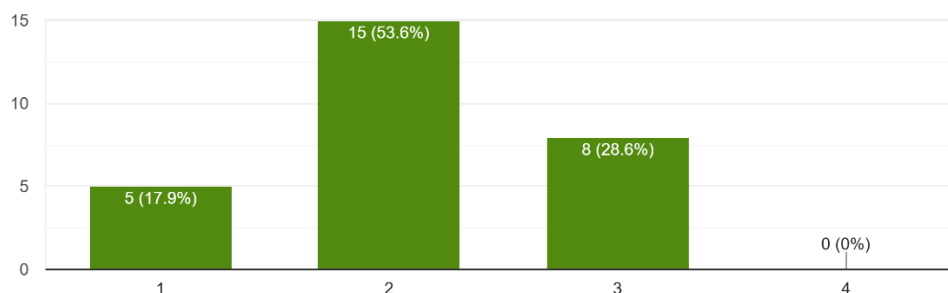
C 挑戦する力 体力・自律心の向上（チャレンジする）

- (1) 一人一人が不安なく安心して学校生活を送れるように、学習環境のユニバーサルデザイン化やスタートカリキュラム、道徳、人権同和教育に積極的に取り組むことができたか。
- (2) 体育の授業や全校運動、運動会などの教育活動を通して、児童に体を動かすことの楽しさやできるようになる喜びを味わわせることができたか。
- (3) 学習問題や学習課題、1時間の授業の流れなどを明示し、一人一人に見通しを持たせ児童が主体的・意欲的に取り組める授業が展開できたか。
- (4) 授業終末のまとめ・ふり返りや朝ドリルを確実にに行ったり、家庭学習の内容を工夫したりすることで、習熟・定着を図る指導ができたか。
- (5) 「聞き方・話し方名人」「声のものさし」を活用し、「はい」の返事や話し方・聞き方などの習慣を身につけさせることができたか。
- (6) 学習内容や場に応じた学習形態（個別、ペア、グループ、全体）を工夫し、児童が主体的に学び合うことのできる授業を展開することができたか。
- (7) 「おはようございます」「こんにちは」などのあいさつの大切さを指導し、児童に実践力を身につけさせることができたか。
- (8) 「なかよし学級活動」を、児童同士の心の交流や互いを高め合うための場として位置づけることができていたか。
- (9) 清掃や児童会の当番活動を継続して行うことで、児童に主体性や粘り強さを身につけさせ、協力して働くことの大切さを味わわせることができたか。
- (10) 授業改善を意識した授業や児童一人一人を大切にした授業を保護者に公開することで、学習指導・学級経営について保護者に理解してもらえたか。
- (11) 「学校だより」、ホームページ、「学年だより」、「学級だより」などで学校や児童の様子について保護者・地域に伝えることができたか。
- (12) ふれあい隊の方々やPTAと協力して、児童の登下校時の街頭指導や下校パトロールを行ったり、地区の危険箇所点検を行ったりして児童の安全確保に努めたか。
- (13) 神科小コミュニティスクール（おたすけ十有志隊など）を活用し、地域や保護者の方々に児童の支援や授業づくりに参画していただくことができたか。
- (14) 日常的に授業を公開し、互いに見合い学び合うことを通して、授業改善のための研修を深めることができたか。

職員学校自己評価:各項目のアンケート結果

重点目標① 他者と関わる力 生活科、総合、特別活動の充実（力を合わせる）

28 件の回答

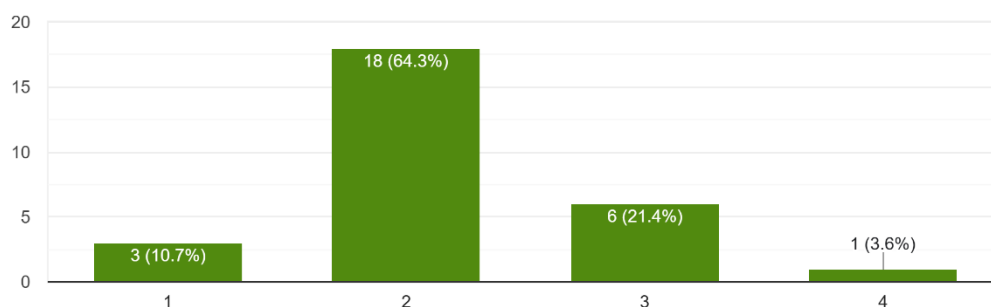


◆ 教職員の願い（まとめ）

1. 子どもも大人も「語り合える」関係を築きたい
2. 違いを認め、他者と関わる力を育てたい
3. 学び合い・助け合う場を意図的に設けたい
4. 子どもの「今」に寄り添った学びを大切にしたい
5. 地域の人と関わる中で礼儀や感謝の心を育てたい
6. 子ども一人ひとりが「問い」をもって学ぶ姿を広げたい
7. 教師の思いつきではなく、継続的・計画的に取り組みたい
8. 子どもが自ら考え、学ぶ時間を保障したい
9. 1人で学ぶ力と仲間と学ぶ力の両方を育てたい
10. 職員同士で学び合い、支え合う文化をつくりたい

重点目標② 学びに向かう力 学力向上、自ら探究的に学習し発信する取り組み（自分で考える）

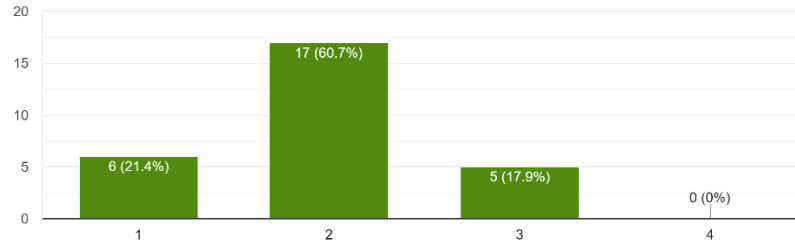
28 件の回答



◆ 教職員の願い（まとめ）

1. 「できた」「わかった」を実感できる学習を積み重ねたい。
2. 学習への姿勢を育て、学力につなげたい。
3. 自分で考え、表現する力を育てたい。
4. 学習や生活の意味を考え、自分ごととして取り組めるようにしたい。
5. 個に応じた課題と時間を保障し、学びを深めたい。
6. 児童の問いを大切にし、自ら解決する力を育てたい。
7. 静かに思考する時間を確保し、主体的な学びにつなげたい。
8. 教師主導から、子どもが自ら学ぶ場づくりへシフトしたい。
9. 基礎学力の定着と、自分で苦手に向き合う力を育てたい。
10. 他の実践から学び、自らの授業改善につなげたい。

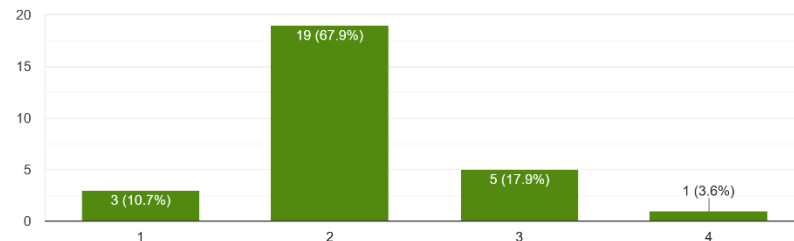
重点目標③挑戦する力 体力・自律心の向上（チャレンジする）
28 件の回答



◆ 教職員の願い（挑戦する力）

1. 個に応じた目標や参加の仕方を尊重し、挑戦への第一歩を支えたい。
2. 対話を通して、気持ちを整理し、折り合いをつける力を育てたい。
3. 「まずはやってみる」姿勢を日々の言葉かけで引き出したい。
4. 失敗を経験と捉え、乗り越える力を育てたい。
5. 子どもの願いや興味を出発点に、活動を共につくっていききたい。
6. 教員主導から自発的な参加・表現へと移行できるよう支援したい。
7. 恥ずかしさや不安を乗り越え、挑戦する姿勢を育てたい。
8. 体育や行事をきっかけに、自分の目標に向かう力を引き出したい。
9. やり遂げた達成感や喜びを実感できる機会を増やしたい。
10. 体を使った活動を通して、挑戦する気持ちを高めたい。
11. 自己表現や立候補の場を設け、自信と自律性を育てたい。

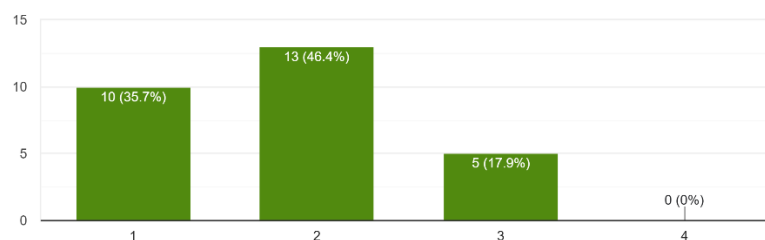
1 一人一人が不安なく安心して学校生活を送れ...権同和教育に積極的に取り組むことができたか。
28 件の回答



◆ 教職員の願い（安心して学校生活を送る）

1. 安心して過ごせる教室づくりを大切にしたい。
2. 相手を意識し、意見や気持ちを聞き合える関係を育てたい。
3. 関わり合いの良さを伝え、認め合う機会を増やしたい。
4. 子ども同士が支え合える環境を整えたい。
5. つながりを意識した活動（クラス会議・つながりタイムなど）を広げたい。
6. 一人ひとりに合った支援を通して、互いに理解し合う力を育てたい。
7. 自分たちのクラスを自分たちでつくると意識を育てたい。
8. ペア・グループ活動を通して、協働する楽しさと力を伸ばしたい。
9. 教室環境を整理し、誰にとっても心地よい場をめざしたい。
10. 担任だけで抱えず、チームで子どもを支え合える体制をつくりたい。

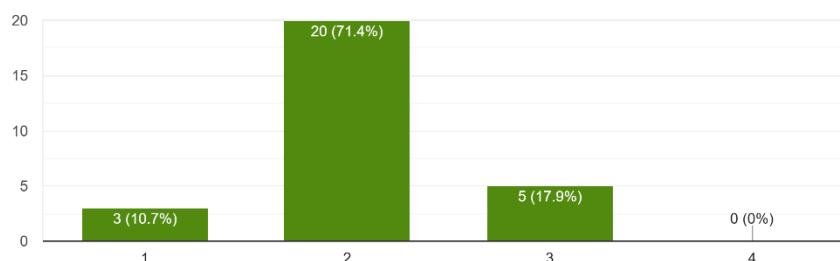
2 体育の授業や全校運動、運動会などの教育活動...ようになる喜びを味わわせることができたか。
28 件の回答



◆ 教職員の願い（体を動かす楽しさ・挑戦）

1. 体を動かすことの楽しさや達成感を味わわせたい。
2. できる・できたを積み重ね、自己肯定感を育てたい。
3. 遊びや運動を通して、自信をもって挑戦する子を育てたい。
4. 恥ずかしさや苦手意識を乗り越える経験をさせたい。
5. 教師自身が楽しむ姿を見せ、子どもの意欲を引き出したい。
6. 子どもに応じた難易度や参加の仕方を工夫したい。
7. 仲間と協力する喜びや本気で取り組む価値を伝えたい。
8. 他者との比較でなく、個の成長を認め合う空気をつくりたい。
9. 運動の機会を増やし、もっと体を動かす日常にしたい。
10. 挑戦と継続が自然にできる体育のあり方を追求したい。

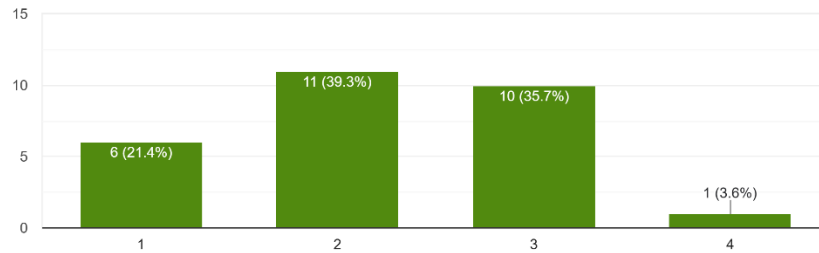
3 学習問題や学習課題、1時間の授業の流れな...体的・意欲的に取り組める授業が展開できたか。
28 件の回答



◆ 教職員の願い（主体的・意欲的に学ぶ授業づくり）

1. 見通しをもって学習に取り組めるようにしたい。
2. 授業の流れや学習課題を明示し、自分で進められる力を育てたい。
3. 一人ひとりが「自分ごと」として学べるようにしたい。
4. 学び合いや意見交換の場を大切にしたい。
5. 流れを見える化し、学習への不安をなくしたい。
6. プリントや板書の工夫で、学習の負担感を減らしたい。
7. 毎時間、めあて・まとめ・ふり返りの流れを大切にしたい。
8. 復習や振り返りを通して、「できる」という実感をもたせたい。
9. パターン化や教材の工夫で、自力で取り組める授業を増やしたい。
10. 子どもの反応を見ながら、柔軟に授業の流れを調整したい。

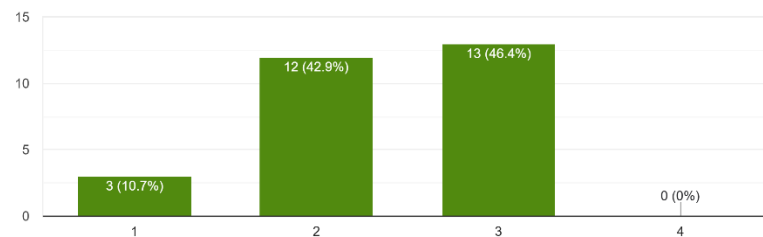
4 授業終末のまとめ・ふり返りや朝ドリルを確実に...することで、習熟・定着を図る指導ができたか。
28 件の回答



◆ 教職員の願い（習熟・定着を図るために）

1. 授業のまとめ・ふり返りを大切にしたい。
2. 振り返りを通して「学びを自分でつかむ力」を育てたい。
3. 朝ドリルやスキル学習を継続し、基礎学力を定着させたい。
4. 家庭学習を通じて「自学の習慣」を育てたい。
5. 家庭と連携し、無理なく取り組める学習内容を工夫したい。
6. 宿題やドリルは形式化するだけでなく、個に応じた支援もしたい。
7. タブレットなど ICT も活用し、学びの幅を広げたい。
8. 学んだことを日常や他教科で活かせるようにしたい。
9. 授業終末の時間を見直し、習慣化を図りたい。
10. 評価や振り返りの指導力をさらに高めたい。

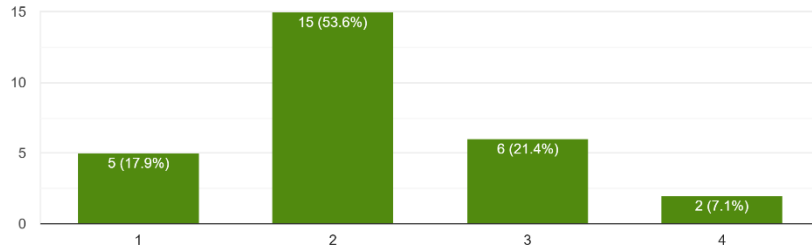
5 「聞き方・話し方名人」「声のもののさし」を活...方などの習慣を身につけさせることができたか。
28 件の回答



◆ 教職員の願い（聞き方・話し方の習慣づけ）

1. 「聞く姿勢」を大切にし、相手を意識した関わりができるようにしたい。
2. 「聞き方・話し方名人」「声のもののさし」を活用し、習慣化を図りたい。
3. 声が小さい子も自信をもって話せるよう、焦らず丁寧に支援したい。
4. 話す力だけでなく、「聞こうとする力」も育てていきたい。
5. 友だちの話を大切にする姿勢を育て、温かな学級風土につなげたい。
6. 相手の心に届く話し方・聞き方を、場面に応じて考えられる子に育てたい。
7. ルールの再確認と繰り返しの指導で、定着を図っていきたい。
8. 子ども自身が「できたこと」を実感できるような支援をしていきたい。

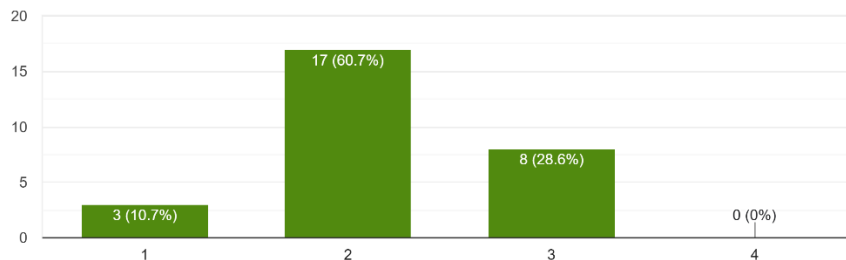
6 学習内容や場に応じた学習形態（個別、ペア、...合うことのできる授業を展開することができたか
28 件の回答



◆ 教職員の願い（学習形態と主体的な学び合い）

1. 児童が自分に合った学習形態を選べる力を育てたい。
2. ペア・グループ・個別・全体の学びのバランスを大切にしたい。
3. スモールステップで段階的に多様な学び方を経験させたい。
4. 教え合いや学び合いが自然にできる環境をつくりたい。
5. 学力差や個性に配慮した柔軟な学習形態の工夫を続けたい。
6. 主体的に取り組める問いや活動を設定し、学びを深めたい。
7. 友だちと話しやすい雰囲気づくりを日常的に心がけたい。
8. 個別学習と協働学習のよさを活かし、学びの幅を広げたい。

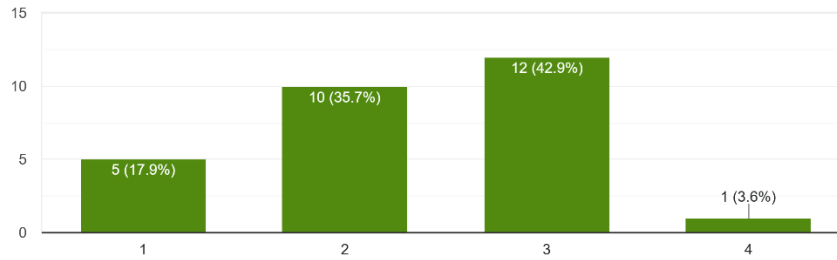
7 「おはようございます」「こんにちは」などのあいさつに実践力を身につけさせることができたか。
28 件の回答



◆ 教職員の願い（あいさつの指導）

1. 児童が自然に気持ちの良いあいさつをできるよう育てたい。
2. 担任自ら率先してあいさつを示し、模範になりたい。
3. 「あいさつは人を喜ばせる大切なコミュニケーション」と理解させたい。
4. 返事も含め、双方向のあいさつの習慣を定着させたい。
5. 個人差を認めつつ、全員ができるよう根気強く指導したい。
6. 児童会活動や役割演技など、多様な機会であいさつの実践力を育みたい。
7. 担任が不在でも当たり前にあいさつができる環境をつくりたい。
8. 防犯など安全面も含めたあいさつの重要性を伝えていきたい。
9. クラスや学年全体であいさつの雰囲気を高めたい。

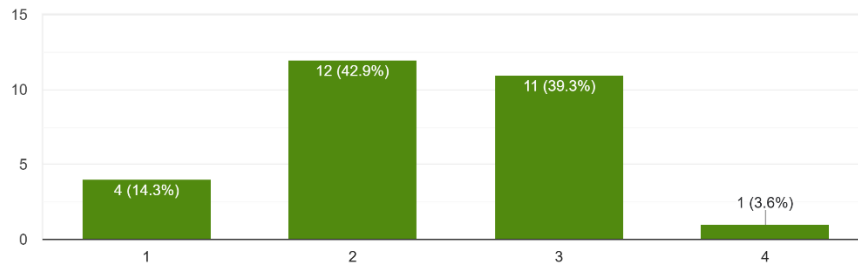
8 「なかよし学級活動」を、児童同士の心の交流...ための場として位置づけることができていたか。
28 件の回答



◆ 教職員の願い（なかよし学級活動）

1. 児童同士の心の交流を深め、互いに高め合う場を確実に設けたい。
2. 活動回数を増やし、継続的な関わりを積み重ねたい。
3. 児童会連絡などの交流の機会を復活・継続させたい。
4. 上級生と下級生のペア活動を充実させ、温かな関係づくりを支えたい。
5. 子どもたちが安心して交流できる居場所づくりをめざしたい。
6. 年度をまたいだ交流の意義を児童自身にも意識させたい。
7. 高学年の先生方とも連携し、支援体制を強化したい。
8. 多様な関わり方を通じて、社会性や思いやりの心を育てたい。

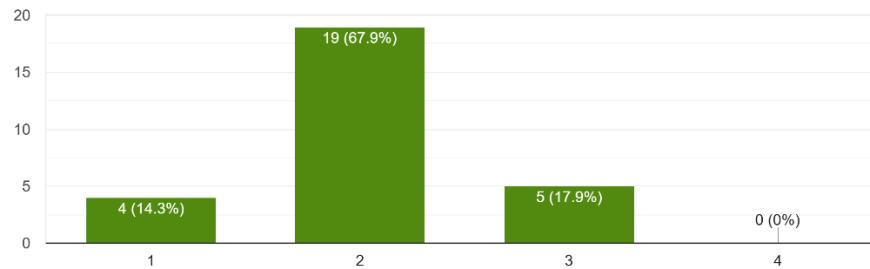
9 清掃や児童会の当番活動を継続して行うこと...て働くことの大切さを味わわせることができたか
28 件の回答



◆ 教職員の願い（清掃・当番活動）

1. 児童に主体性と粘り強さを身につけさせたい。
2. 協力して働くことの大切さを実感させたい。
3. ただ「サボらない」「逃げ出さない」だけでなく、自発的に取り組む姿勢を育てたい。
4. 黙想や無言清掃の習慣を大切に、集中力を高めたい。
5. 当番活動の責任感を持たせ、継続して取り組めるよう支援したい。
6. 学年・学校全体で課題を共有し、改善策を協力して考えたい。
7. 時間内に効率よく清掃し、協力し合う態度を養いたい。
8. 児童が委員会当番活動の意義を理解し、自覚を持って参加できるようにしたい。

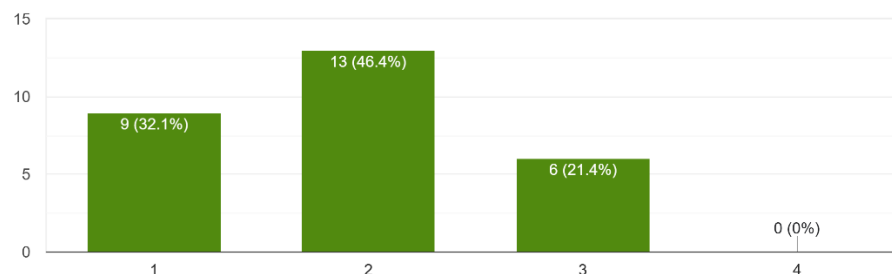
10 授業改善を意識した授業や児童一人一人を...・学級経営について保護者に理解してもらえたか
28 件の回答



◆ 教職員の願い（授業公開と保護者理解）

1. 児童一人ひとりを大切にした授業の姿を保護者にしっかり伝えたい。
2. 保護者に子どもたちの学びの様子や成長を実感してもらいたい。
3. 音楽会や学校行事を通して、授業の良さや学級の雰囲気を理解してもらいたい。
4. 学級通信や懇談会など、保護者とのコミュニケーションをより充実させたい。
5. 保護者からの感想や意見を受け取り、今後の指導に活かしたい。
6. 参観の機会を適切な負担で継続的に設けたい。
7. 児童が笑顔で学校生活を送る姿を見てもらうことも大切な理解促進になると考えている。

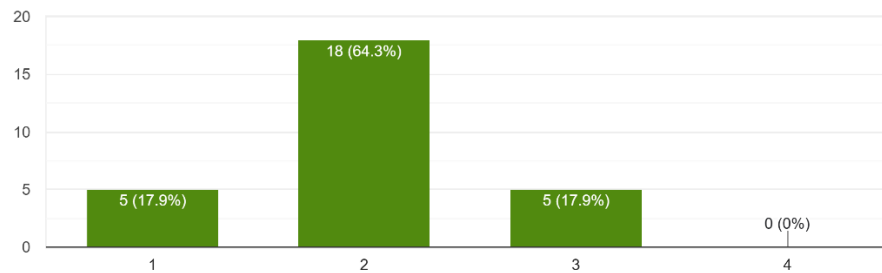
11 「学校だより」、ホームページ、「学年だよ...子について保護者・地域に伝えることができたか。
28 件の回答



◆ 教職員の願い（情報発信）

1. 学校や学級の様子を保護者・地域に積極的に伝えたい。
2. 学級だよりの発行頻度を増やし、子どもたちの頑張りや成長をしっかり届けたい。
3. 連絡帳やデジタル配信など、多様な手段を活用して情報の伝達漏れを防ぎたい。
4. 保護者の理解と協力を得るため、わかりやすく必要な情報を整理して発信したい。
5. 自分の発信が不十分な点を認識し、改善に努めたい。
6. 児童の素敵な姿や活動の様子を継続的に共有し、信頼関係を深めたい。

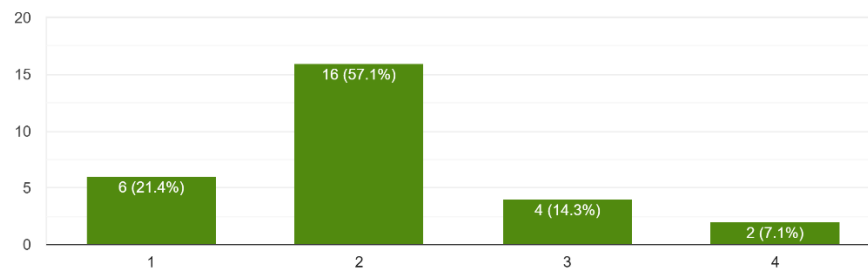
1 2 ふれあい隊の方々やPTAと協力して、児童...点検を行ったりして児童の安全確保に努めたか。
28 件の回答



◆ 教職員の願い（児童の安全確保）

1. 地域の方々やPTAの皆様と協力し、登下校の安全指導や危険箇所の確認を積極的に行いたい。
2. 実地踏査など、地域と連携した活動を大切にし、安全面での課題を早期に把握したい。
3. 日常的に児童と対話し、安全への意識と感謝の気持ちを育みたい。
4. 地域の温かい支えを感じながら、安心して過ごせる環境づくりに努めたい。
5. 活動の継続と広がりを目指し、保護者・地域の協力体制をより強化していきたい。

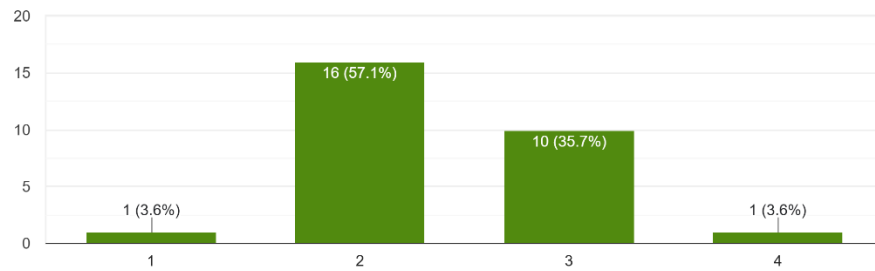
1 3 神科小コミュニティスクール（おたすけ...授業づくりに参画していただくことができたか。
28 件の回答



◆ 教職員の願い（地域・保護者の参画促進）

1. 地域や保護者の方々に、児童支援や授業づくりへ積極的に参加していただきたい。
2. おたすけ十有志隊の皆様との連携を深め、子どもたちの学びや生活をより豊かに支えたい。
3. 体験活動や校外学習、総合的な学習の時間など、多様な場面で協力をお願いし、感謝の気持ちを大切にしたい。
4. 参画の機会がまだ十分でないため、今後はより積極的に声をかけて協力体制を強化したい。
5. 地域との交流を通じて、子どもたちの成長や安心・安全な環境づくりに貢献していきたい。

1 4 日常的に授業を公開し、互いに見合い学び...、授業改善のための研修を深めることができたか
28 件の回答



◆ 教職員の願い（授業公開と研修の充実）

1. 教室を空けることが難しく、まとまった時間の授業参観はまだ十分にできていないが、短時間でも児童の様子を見に行く機会を増やしたい。
2. 特別支援学級の授業を他教員に積極的に見てほしい。
3. 互いの授業を見合うことへの意識がまだ低いため、もっと積極的に参観し合い学び合う文化をつくりたい。
4. 学年内の教科担任制の活用や研究主任のまとめを通じて、授業改善に役立てているが、実際の参観機会を増やしたい。
5. 他学年の授業も見学し、指導方法や進め方の工夫を共有し合い、全体の指導力向上を図りたい。

■ 校内研修資料(8/27)職員会:子ども観・児童観を見つめなおす

『神科小みんなが幸せプロジェクト～子どもも先生も、笑顔で育つ学校へ～』

小学校の6年間の育ち——その時間は、ただ知識や技能を教えるためだけのものではありません。

「卒業する時、どんな姿になってほしいのか」

「どんな力を身につけて、自信をもって次のステージへ進んでほしいのか」

その理想をしっかりと描き、語り合い、見据えて指導にあたるのが、今こそ求められているのではないのでしょうか。

神科小の子どもたちは、素直で、前向きで、あたたかい心をもった子どもたちです。

その“よさ”や“強み”に光を当て、どこまでも伸ばしていく指導を、私たちは大切にしたい。

課題や弱さにばかり目を向けて、「どうにかしなければ」と手立てを考える毎日では、指導する側の心もすり減ってしまいます。

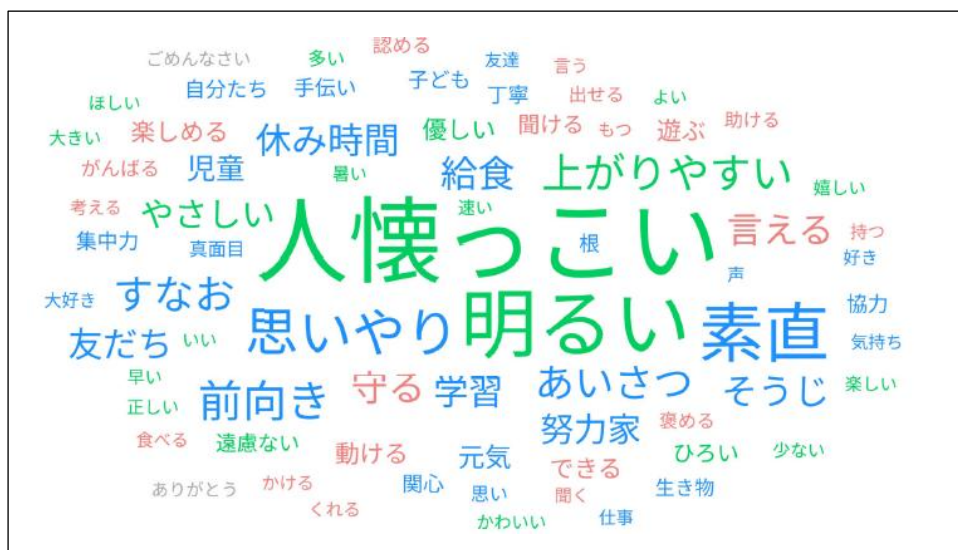
子どもたちの持つ力を信じ、育ちの可能性を見つけるまなざしで向き合ったとき、教師自身の心も、前向きに、熱をもって動き出すはずです。

得意なことには力が入りますし、苦手なことには正直、腰が重くなります。これは、子どもも教師も同じです。だからこそ、「できないこと」に焦点を当てるのではなく、「できること」や「よさ」に注目して伸ばしていく指導を大切にしたいのです。

2学期。どんな小さな変化やがんばりにも気づき、認め、支えていく教師のまなざしがあれば、子どもたちは必ず応えてくれます。そしてその積み重ねが、教師と子どもとの関係をさらに深め、学級や学校の雰囲気さえも大きく変えていくと、私は信じています。

教師が、希望をもって、子どもの未来を語れる学校でありたい。その想いを教職員同士(同志)で共有したいと考えました。神科小の子どもたちの力を信じ、教師自身もわくわくしながら、2学期を共に歩んでいきましょう。

自分の「神科小の子ども」を言語化してみる→異なる学年/立場の教職員で共有しました。



ユーザーローカル AI テキストマイニングによる分析(<https://textmining.userlocal.jp/>)

今年度は、「神科小の子どもたちのよさ、強みを伸ばす視点」から、2学期からの各学年の具体的な方策を学年会で検討いたしました。

『神科小みんなが幸せプロジェクト～子どもも先生も、笑顔で育つ学校へ～』（2学期の方策）

		【他者と関わる力】 生活科・総合、特別活動の 充実(力を含わせる)	【学びに向かう力】 授業力向上、自ら探究的に 学習し発信する取り組み (自分で考える)	【挑戦する力】 体力・自体力の向上 (チャレンジする)
1年	2学期に取り組みたいこと / 大切にしたいこと	学年の畑で育てたサツマイモやポップコーンの収穫、収穫祭の持ち方を話し合いながら、これまでの取り組みを学年全体で見返す場を持つようにする。 また、春から育てた自分のアサガオをどのようにしてまめて残していくか、みんなでアイデアをだしあい、支えていきたい。	1学年という発達段階にあわせ、基礎基本的な学力の定着を確実にされるよう、一斉授業尾なかでも個別の支援の充実を図っていく。先生や友達の話を「聞く」ことを柱にし、保護者にもできるだけ学年の取り組みをおたより等で発信していく。	できること、得意なことを大切に、お互いに学び教えあい、みんなひとりとひとりと違っていいことを確かめ合い、個々が自分にあわせた体力、自立心の向上を目指す取り組み(体育での課題づくり)を進めていく。
	子どもや職員にどんな 笑顔が生まれるか(願 い)	生活科中核活動の学習における子どもの笑顔 ・植物(命)の成長の驚きとうれしさの笑顔 ・病気や肥料など、お互いの命を大切に育てた時の笑顔 ・収穫のときの 達成の笑顔 ・お礼の気持ちを収穫した喜びを分け合える笑顔	新しい学習を理解習得したうれしさと笑顔を少しでも引き出すように、大切な基礎基本的な学習への取り組み方も含めて次の学年にもつながる支援指導を重ねていく。取り組みだ成果や1時間ごとの授業での「できた」「わかった」と実感できるように場を意図的に設けていく。学校でのこうした取り組みを家庭にもおたより等で伝え、子ども、担任、保護者一緒に喜びを共有していく。	体力的な個人差を全体で認め合うなかで、恒々の成長を実感できる積み重ねを繰り返しながら、どの子どもも体力・自立心の向上意欲が持ち続けられるように配慮していく。特に体力面では「楽しい」活動を前面に、学級学年で歩調をあわせて進めていく。
2年	2学期に取り組みたいこと / 大切にしたいこと	年度末のクラス替えを見据え、合同の授業を設定していく。体育、生活、音楽から取り組み、クラスの垣根を低くしていく、他クラスとの交流の場面を増やしていく。	たし算・ひき算のひっ算や九九など、高学年に向けて算数の主台となる内容が極めて多いため、きちんと定着するまでががんばらなければならない授業づくりや、できたという思いをしっかりと持てるような授業づくりを行い、学力の土台作りをしっかりと行っていく。	できた！という自分の成長を感じることが出来る場面を多く設定したり、評価の場面で実感の伴ったものにすることで意欲の向上が見られたため継続したい。学習内容によりスモールステップによる進め方をする。
	子どもや職員にどんな 笑顔が生まれるか(願 い)	クラスの枠を超えて一緒に活動できた笑顔。 一緒に焼き芋ができる笑顔。 心を一つにして音楽会の演奏ができたときの笑顔。	できた！ほめられた！が大きなモチベーションになる児童が多いため、教師の側が積極的に実施し、お互い笑顔が確認できる機会を増やしていく。	失敗しても再挑戦できる子どもたちの人間関係がある学級経営を目指す。失敗を笑わない心、くじけず再チャレンジできる心を育てることがお互いの笑顔につながる。
3年	2学期に取り組みたいこと / 大切にしたいこと	2学期中核となる総合的な学習の時間の活動「伝統野菜『山口大根』」を育てよう	3年生段階では、「自分で選ぶ → 計画する → やってみる → 振り返る」のサイクルを、教師と一緒に経験することを大事にしたい。普段の授業の中で、教師が探究のたねをま。	体育「鉄棒」「キックベース」できなくても「挑戦したこと」を仲間や教員が認める。行事「音楽会」「社会見学」等の場面で、失敗があっても「勇気を出してやった」ことが拍手される…経験を積む。
	子どもや職員にどんな 笑顔が生まれるか(願 い)	山口大根の学習で生まれる子どもの笑顔 ・芽が出たときの 発見の笑顔 ・友だちと協力するときの なかまの笑顔 ・地域の人とつながったときの 誇りの笑顔 ・収穫のときの 達成の笑顔 ・発表で伝えられたときの 自信の笑顔	興味・疑問を自分の言葉で出すことからスタートし、教師は子どもの「どうして?」「なぜ?」に寄り添う。 その中で子どもの興味や関心は広がり、挑戦する姿や笑顔が生まれていく。	「結果」よりも「挑戦の過程」を認める教師や仲間からの声かけが、3年生にとって「自分っていいな!」「自分OK!」と感じられるような自己肯定感を育てることにつながる。
4年	2学期に取り組みたいこと / 大切にしたいこと	顔をみて、明るいあいさつ あいさつのできる学年を目指す!	自分で考えて、自分のためになる自主学習に取り組む。	自分から自分の仕事をしよう!
	子どもや職員にどんな 笑顔が生まれるか(願 い)	明るいあいさつを交わすことで、1日の始まりが明るくなる。お互いに笑顔になる。下校は担任とハイタッチで帰る。	調べたことを知らせることで知識が共有できる。その子らしい学びの良さを見つけることができる。	自分から進んで行っている(係活動、委員会活動、清掃など)子を認めることで、自主性を育てていきたい。
5年	2学期に取り組みたいこと / 大切にしたいこと	学年みんなで協力して、高原学習・音楽会を成功させよう!	どんな時も自分の考えを持つ。(さらには発信できるようにしよう。)(友達と少しでもいいよ。)(どんな時もお客様ではなく、自分が主で参加できるようにしよう。)	新しいことに挑戦し、新しい自分を発見しよう。(体育でも音楽でも児童会でもまだやったことがないことにもどんでん挑戦しよう。)(失敗したっていいじゃん!)
	子どもや職員にどんな 笑顔が生まれるか(願 い)	・自分自身がやり切ったという達成感を感じられる。 ・仲間と協力し合う良さ、仲間のすばらしさを感じられる。 ・教師も子どもも一体となってやり切った団結力を感じられる。	・考えを持つことができた自分に自信が持てる。 ・友達と意見交換をすることによって、自分と同じ考えを見つかることができ、それは安堵感にもつながるだろう。	・挑戦しているかっこいい姿を見て、みんな笑顔になれる。(教師も友達も、そして一番は自分自身が。)
6年	2学期に取り組みたいこと / 大切にしたいこと	・音楽会・連合音楽会 学年みんなでひとつになる。 ・ルールやマナーを守る。(日常生活から修学旅行に向けて)	・中学進学を意識して…自身の授業態度、学習に向かう姿勢、意識を高めていく。 ・自主学習の向上を図る。(自分に必要な努力)	・児童会後半戦。自分たちは学校に何を残していくか。 6年生としてのもうひと頑張りをする。5年生にバトンタッチ。
	子どもや職員にどんな 笑顔が生まれるか(願 い)	みんなの大事な思い出になる。みんなが楽しい。みんなが気分がいい。みんなが幸せ。	努力のできる自分を育てる。頑張ることの大切さを知り、頑張れる自分に気づく。自信をもって卒業、進学していく。	・「まだまだ自分たちはできる」「もっともっとできる」と最後の最後まで粘る!
ふれひま	2学期に取り組みたいこと / 大切にしたいこと	・生活単元学習、自立活動の充実 ・音楽会、神科小まつり(ふれひまショップ)、各学年の諸行事への参加	・個に応じた継続的な学習計画と、それに基づいた教材準備や環境設定	・音楽会、神科小まつり(ふれひまショップ)、各学年の諸行事への参加 ・はじめてのこと、わからないこと、苦手なことにも少しずつ挑戦できるような場の設定と支援の工夫
	子どもや職員にどんな 笑顔が生まれるか(願 い)	・個に応じて形態は異なるが、参加できた、一緒にできたという達成感 ・活動を通して他者理解をし、よしかかわりが広がったり深まったりすること	・「できる」「わかる」という自信や自己肯定感の向上	・自分や自分の手をかけたことが認められる喜び ・挑戦を楽しむ姿 ・結果だけでなく過程を大切に
専科	2学期に取り組みたいこと / 大切にしたいこと	・相手(特に人前で表出が苦手の仲間)の声を聞くことや、仲間や場面に心を寄せることに意識を向けさせたい。そのための工夫、準備をしていく。	・考えようとするきっかけ(種)を与え、1時間の中の学習形態の工夫を施し、その子なりの表現方法を尊重する。	・一人の子も見捨てず、諦めず、粘り強く、子どもの伸長を信じて情熱の灯火を心に宿す。
	子どもや職員にどんな 笑顔が生まれるか(願 い)	・音楽会をはじめとした日々の学習活動における集団や個の達成感が増し、時や場に応じた言葉遣い、態度、マナーの大切さを意識して行動していく習慣を養うことにつながる。	・子ども同士の話し合い等の学び合いを保障し、子ども同士に学習解決を委ねることで、個や集団の意欲や理解の向上が期待できる。	・安心して、試行し、失敗し、やり直せる。子どもが自得する自身への日々のこまめな世話が、やがて開花や結実を迎えることを実感でき、次の活動の糧となる。

全校・職員共通キャッチコピーについて

「2学期の方策」として出していたいた具体をさらに端的にまとめてみました。

2学期は、音楽会・人権参観日・社会見学・5年高原学習・6年連合音楽会・修学旅行など、多くの行事が続きます。児童と職員が同じ思いで取り組めるよう、全校共通のキャッチコピーを「2学期の活動の柱」として掲げ、学年集会や活動場面で取り上げていただけると幸いです。

以下の合言葉を基盤に、各学年のスローガンづくりや日々の活動にも役立てていきましょう。

※キャッチコピー

1. 笑顔と協力で挑戦し、やり切ろう！

2. 挑戦と協力で育む笑顔の輪

3. やり切る喜びを、笑顔でつなごう

神科小の子どものよさ(端的にまとめました)
1. 明るさ・元気さ ・ 活発で元気、外遊びや体を動かすことが好き ・ 明るく、場を盛り上げる力がある ・ のびのびと表現できる
2. 素直さ・前向きさ ・ 素直で聞き入れやすい ・ わからないことや失敗を認められる ・ めげずに最後までやり遂げる、努力家
3. 思いやり・協力性 ・ 友だちや周囲の気持ちに寄り添える ・ 困っている人に手を差し伸べる ・ 協力し、輪を大事にできる
4. 礼儀・社会性 ・ あいさつ、ありがとう、ごめんなさいが言える ・ ルールや時間を守る ・ 委員会活動や係活動など責任をもって行うことができる
5. 学習・意欲 ・ 学習に集中できる、前向きに取り組む ・ 興味・関心を持って挑戦する ・ 自分で考えて行動できる
6. 個性・自己表現 ・ 自分の気持ちや考えをはっきり出せる ・ 表現や遊びを楽しめる ・ 社交的で友だちを限定せず接する